

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします

2026年度 春学期・夏学期開講

科学技術政策特論

第8回講義

建築・地域・環境デザインの課題・方向

-50年後のふるさと創りをめざして-

一般社団法人 みらい 建築・住宅研究機構 理事長
地方独立行政法人 北海道立総合研究機構フェロー(元理事)
国立研究開発法人 建築研究所 客員研究員 ほか

鈴木 大隆 氏

鈴木先生からのメッセージ

環境・資源、高齢・少子問題、集中・過疎、気候変動、災害発生など、これまで経験したことのない大変動時代、そして喫緊の世界的課題でもあるカーボン・ニュートラル社会の実現など、世界、私たちの国そして地方は様々な課題を抱えています。これらへ対応が必要な未来に、必ずしも心がおどるような夢や希望を感じる方は多くないかもしれませんが、過去の歴史がそうであったように、それらへの対応のなかから、新たな可能性や景色が見えてくるはずですし、それがいまに生きる我々の使命でもあります。

講義では主として建築・都市・地域そして環境デザインの観点から、ものづくりや政策・制度検討、そして東日本大震災からの復興にかかわってきた経験や事例を通じて、少し長い観点、さまざまな視点から、これからの地域が目指すべき方向を一緒に考えていきたいと思います。

鈴木 大隆先生

昭和59年室蘭工業大学修士課程修了

平成10年東京大学大学院論文博士(工学)取得

昭和59年室蘭工業大学工学部建築工学科助手

平成3年 北海道立寒地住宅都市研究所へ異動

平成23年 国土交通省 政策参与(兼務)

平成28年 北海道立総合研究機構 建築研究本部長、
北方建築総合研究所 所長(兼務)

平成31年～令和8年3月 北海道立総合研究機構 理事

これまで、道総研全体の研究マネジメントや国・道のカーボンニュートラル施策・基準づくりなどに広く従事。現在は国の機関等にも籍を置き、日本全体の政策研究・立案や建築・住宅分野の研究開発推進にかかわっています。

担当:工学系教育研究センター 小崎 完教授

日時: 5月29日(金)

5講目 16:30-18:00

受講方法:オープンホールによる対面